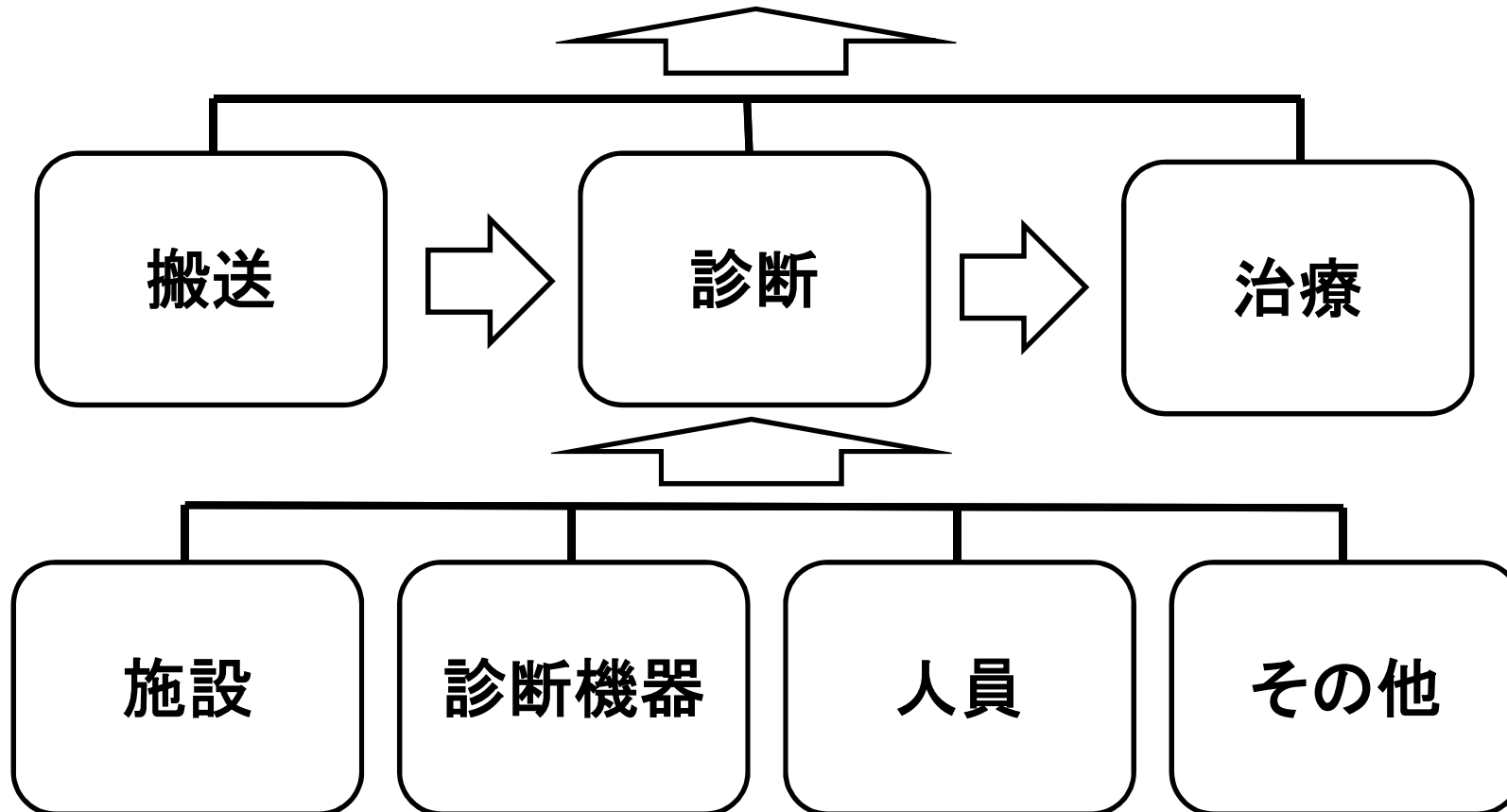


# 循環器病の急性期診療提供体制構築に 向けた考え方(案)

# 循環器病の急性期診療提供体制構築に向けた考え方(案)

【目標】 循環器病による・年齢調整死亡率の減少  
・要介護に至る患者の減少



○現在の医療資源(施設、診断機器、人員等)をふまえて、搬送・診断・治療における課題を把握した上で、地理的要件や発症頻度等を考慮しつつ、診療提供体制を構築することが必要ではないか。

## 循環器病を診療する施設の役割分担のイメージ(案)

	脳卒中	急性心筋梗塞	急性大動脈解離
高度な 専門的医療を 行う施設	血管内治療、外科 的治療が可能	外科的治療が可能	24時間体制で外科 的治療、血管内治 療が可能
専門的医療を 行う施設	t-PA療法が可能	再灌流療法が可能	外科的治療、血管 内治療が可能
主に 初期対応を 行う施設	脳卒中の診断が 可能	急性心筋梗塞の 診断が可能	急性大動脈解離の 診断が可能

○提供する医療に応じて医療施設に求められる役割を明確化した上で、診療提供体制を構築することが必要ではないか。

# 循環器病の急性期診療提供体制構築に向けた 評価指標の設定(案)

医療施設に求められる  
役割のイメージ

高度な  
専門的  
医療を行う  
施設

専門的  
医療を  
行う施設

主に初期  
対応を行う  
施設

搬送

診断

治療

## 評価に用いることが可能な指標(案)

- 医療計画で例示されている指標
- 病床機能報告制度によって把握される項目
- 研究班の情報
- 学会等における診療実態調査の情報
- その他

○搬送、診断、治療における課題と、医療施設に求められる役割を元に、診療提供体制および個別の医療施設の評価指標を設定することが必要ではないか。